
CSIDE Version6 への移行について

第2版 2011年1月

Computex[®]

株式会社 コンピューテックス

Copyright (C)2010

CS0013(C)1107

目次

第1章 バージョンアップを行なう	3
1.1 CSIDE Ver.6 にバージョンアップするためには？	3
1.2 CSIDE Ver.6 をご使用いただく前に	3
1.3 CSIDEのダウンロード	3
1.4 CSIDEのインストール	3
第2章 CSIDE Ver.6 への移行について	4
2.1 プロジェクトファイル	4
2.2 ワークスペースファイル	4
2.3 マクロファイル	4
2.4 その他定義ファイルの互換性	4
2.5 その他、注意事項	5

第1章 バージョンアップを行なう

現在お使いの環境を CSIDE Ver.6 へバージョンアップを行なうための手順について説明します。

1.1 CSIDE Ver.6 にバージョンアップするためには？

CSIDE Ver.6 は、お使いいただいている製品に対するユーザサポート制度にご加入中であれば、無料でアップデートを行なってご使用いただくことが可能です。もし、ユーザサポート制度の期間が終了してしまっている場合には、ユーザサポート制度に再加入いただくことで、CSIDE Ver.6 にアップデートしてご使用いただくことができます。

ユーザサポート制度の再加入につきましては、当社営業部までお問合せください。

なお、ご使用製品のユーザサポート制度への加入状況は、以下の手順でご確認いただくことが可能です。

1. ライセンスツールのライセンス申請ウィザードを実行し、使用中の製品のライセンスファイルを再取得してください。
2. ライセンスツールのライセンスビューアを起動させ、使用中のライセンスファイルを選択してサポート期間終了日をご確認ください。

※ライセンスビューアは、ホスト PC のローカルドライブに保存されているライセンスファイルを参照します。
この為、ライセンスファイルの再取得を行わなければ、古い情報が表示される場合がありますのでご注意ください。

1.2 CSIDE Ver.6 をご使用いただく前に

ライセンスツール/デバイスドライバについては、今までお使いであったバージョンのままでも、ご使用いただくことは可能です。しかし、使用中のバージョンが古い場合には、下記 URL に掲載しております最新バージョンをインストールしていただくことをお勧めいたします。

ライセンスツール : http://www.computex.co.jp/support/download/license_tool.htm
デバイスドライバ : <http://www.computex.co.jp/support/download/interface.htm>

※デバイスドライバは、Windows Update から最新バージョンに更新することも可能です。

1.3 CSIDE のダウンロード

最新バージョンの CSIDE は、ライセンスツールの CSIDE アップデートウィザードを使用してダウンロードを行ないます。CSIDE アップデートウィザードについて、ライセンスツールマニュアルをご参照いただき、セットアップファイルのダウンロードを行ってください。

1.4 CSIDE のインストール

ダウンロードしたセットアップファイルを実行して、インストールを行ないます。
今までご使用頂いていたバージョンの CSIDE をアンインストールした後に、CSIDE Ver.6 のインストールを行ってください。

第2章 CSIDE Ver.6 への移行について

CSIDE Ver.6 へ移行される際の Ver.5 の各ファイルの互換性と、その他の注意点について説明します。

2.1 プロジェクトファイル

プロジェクトファイル(拡張子:cpf)は、CSIDE Ver.5 で作成されたファイルを引き継いでお使いいただくことが可能です。但し、プロジェクトファイルは上位互換となりますので、一度、CSIDE Ver.6 で読み込み、上書き保存されますと以前のバージョンでは読み込むことができなくなります。以前のプロジェクトファイルを残される場合には、別名で保存するなどしてください。

2.2 ワークスペースファイル

Ver.5 までに作成されたワークスペースファイルを、引き継いで使用することはできません。お手数ですが、CSIDE Ver.6 でワークスペースを新規に作り直してご使用ください。

なお、ワークスペースファイルの拡張子が、Ver.5 までの.cwf から.xml に変更になりました。

以下の点が、変更となりましたのでご注意ください。

- ・make ファイルをインポートしてのワークスペースの作成は行えなくなりました。
SH シリーズをご使用の場合には、HEW のプロジェクトファイルのインポート機能がありますのでご利用ください。
- ・ワークスペース機能がサポートしているコンパイラバージョンが変更になりました。

2.3 マクロファイル

CSIDE Ver.6 より、従来のマクロ機能に加えて、ANSI C に準拠したマクロインタプリタを搭載しました。これにより新たにマクロ言語を習得することなく、C でマクロファイルを記述することが可能となりました。CSIDE Ver.6 以前の従来のマクロ機能も引き続きご使用頂けますので、以前に作成されたファイルをそのままご使用いただけます。

2.4 その他定義ファイルの互換性

CSIDE の情報を保存している以下の定義ファイルは、Ver.5 と互換性がありますので、そのままご使用頂けます。

- ・IO 定義ファイル(拡張子:io)
- ・NOR フラッシュデバイス・ユーザ定義ファイル(ファイル名:UserFlash.def)

以下のファイルについては、CSIDE の起動時に Ver.5 のファイルを Ver.6 に変換して別ファイルで保存されます。

- ・デスクトップファイル(ファイル名:機種名.dsk)
プロジェクトファイルやソースファイルの表示履歴など CSIDE の共通設定が保存されます。
PALMiCE3 XXXXX V5.dsk → PALMiCE3 XXXXX V6.dsk に変換されて保存されます。
- ・履歴ファイル(拡張子:chf)
シンボル名や入力値などの入力履歴が保存されます。
PALMiCE3 XXXXX V5.chf → PALMiCE3 XXXXX V6.chf に変換されて保存されます。

2.5 その他、注意事項

CSIDE Ver.6 へ移行するにあたってのその他の注意点を記載します。

- ・Ver.5 で設定されていた CSIDE のテーマは、全て”Skin Blue”に変更されて開かれます。
- ・Ver.5 の Classic テーマのように MDI チャイルド・ウィンドウをデフォルトで開きたい場合は、[CSIDE の設定][テーマ]の [デフォルトでドッキング・ウィンドウを開く]を使用ください。
- ・オンラインマニュアルが、コンパイル済み HTML ヘルプ(chm)に変更になりました。
マニュアルを表示させる場合には、F1 キーを押すことで状況に対応した箇所のマニュアルが表示されます。

- ◇ 本書の内容の一部、または全部を無断で使用することや、複製することはできません。
- ◇ 本書に関する疑問点や誤り、記載漏れ、ご意見、ご感想、ご要望などがありましたら当社までご連絡ください。
- ◇ 本書で取り上げるプログラム名、CPU 名などは、一般に各メーカーの商標または登録商標です。
- ◇ CSIDE に関する著作権は(株)コンピューテックスに帰属します。
- ◇ PALMICE、CSIDE および COMPUTEX は、(株)コンピューテックスの登録商標です。

Computex®

株式会社コンピューテックス
テクニカルセンタ

〒605-0846

京都市東山区五条橋東四丁目 432-13 対嵐坊ビル 4F

TEL.075(551)0373 FAX.075(551)2585

WebSite : <http://www.computex.co.jp/>

E-Mail : support@computex.co.jp

CSIDE Version6 への移行について

2011 年 01 月

CS0013(C)1107